

2013年度

K 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～5を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 天智天皇の孫にあたる光仁天皇の次に即位した桓武天皇は、仏教勢力の政治介入を避ける目的もあって、784年に都を（イ）に遷した。しかし都の造営責任者が死亡した¹⁾ことなどでその完成を断念し、再度遷都した。こうした2度の遷都で国家財政が窮乏したため、桓武天皇はさまざまな政策を実施することになった。また財政窮乏の原因の1つとして、蝦夷への武力行使も²⁾あった。780年に蝦夷の族長によって、東北支配の最大の拠点であった多賀城が放火された。これを受けて桓武天皇は慎重に準備を整えて征討軍を派遣したが、789年に蝦夷の族長くあ>に敗れた。その後征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂がくあ>を降伏させた。またくい>城を築城し、ここに鎮守³⁾府を移した。遷都の費用とあわせて、こうした軍の派遣は国家財政を圧迫し、民衆の苦しみを増やしたことから、桓武天皇は（ロ）の意見を採用して、これを中止した。
2. 14～15世紀にかけて、北方交易の媒介者として重要な役割を果たしたのが、安藤（安東）氏である。安藤氏は鎌倉幕府の執権北条義時の時代に蝦夷管領に任じられた⁴⁾。しかし安藤氏は、鎌倉府と気脈を通じて北進した南部氏の攻撃を受けて、15世紀半ばには道南の松前に落ちのびた。安藤氏が道南を拠点とすることで、道南での和人数勢力が拡大することになった。こののち安藤氏は再度南進して、出羽国檜山に移るが、この地を拠点に和人の道南十二館を支配下においた。こうした和人数館は、交易の最前線にあったため和人とアイヌとの対立関係を生み出しやすく、1456年には1人のアイヌが殺害された一件をきっかけに、アイヌによって襲撃された。そして翌年にアイヌの大首長であるくう>を中心に結集したアイヌ軍が、和人数館を次々と陥落させた。これに対して花沢館の蠣崎季繁・武田信広はアイヌ軍を追撃してくう>を討ちとり、和人数側に勝利をもたらした。武田信広はこのあと季繁の婿となって蠣崎家を継ぎ、近世の松前藩の祖となるのである⁸⁾。
3. 江戸時代になると、蝦夷地はサケやニシンの漁場として活用され、さらに長崎で輸出される海産物の生産地としても重視されるようになった。こうしたことを背景に老中田沼意次は、『赤蝦夷風説考』を著した仙台藩医くえ>の献策を取り入れて、蝦夷地へ調査隊を派遣するなど、積極的な蝦夷地開発を目論んだ。蝦夷地の開発や幕府による直轄支配化をめぐることは、幕府の老中間でも意見が分かれたが、クナシリ・メナシのアイヌ蜂起や、ロシア使節ラクスマンが大黒屋光太夫を¹⁰⁾伴い根室に來航したことなどを受け

て、老中松平定信は国防の観点から蝦夷地非開発を前提として、松前藩による支配を維持した。¹¹⁾しかし定信が老中を辞職すると、再度蝦夷地開発が目指され、幕府は1799年には東蝦夷地、1807年には全蝦夷地の支配権を松前藩から取り上げ、松前奉行を設置して蝦夷地を直轄した。この時期は、ロシア軍艦がカラフトやエトロフを襲ったためロシアとの緊張関係が高まったが、こうした緊張関係は、1811年にクナシリで捕縛されたロシア軍艦艦長（ハ）と高田屋嘉兵衛との交換によって、ひとまず緩和された。しかし、これ以後も異国船が近海を航行する頻度は高まり、海岸防備が整わないまま、やがてペリーの来航を迎える。

4. 日米和親条約締結後、下田にアメリカ総領事として着任したハリスは、幕府に世界情勢を説明して通商条約の調印を迫った。条約調印に向けて、幕府の老中堀田正睦はくお>天皇から条約調印の勅許を得ようと上京したが、勅許はえられなかった。追いつめられた幕府は、大老井伊直弼の指示のもと、1858年に日米修好通商条約の調印に踏み切った。この条約では、4つの場所での開港と江戸・大坂の開市などが取り決められたが、日本側には不平等な条約であった。幕府はイギリス・フランスなどとも同様の条約を締結したが、これで諸外国との関係が安定したわけではなかった。例えば1861年にはロシアの軍艦（ニ）号が対馬の入り江を占拠し、土地の租借を要求する事態となった。幕府や対馬藩はその対応に苦慮し、最後は、『大君の都』という著書があるイギリス初代駐日公使¹²⁾くか>と協議の上、イギリス海軍の協力をえることでその解決をはかった。貿易の開始後は、物価が高騰するだけでなく、尊王攘夷運動がさらに高揚して、幕府は開港場の鎖港交渉に取りかかると列強に通告し、1863年には長州藩も下関沖を通過する外国船を砲撃するにいたった。¹³⁾長州藩のこうした攻撃に対して、翌年にはくか>の指導のもと、英仏米蘭の四国連合艦隊が下関の砲台を破壊する反撃にでた。

5. 日米和親条約が締結された後には、ロシアとの間でも日露和親条約が結ばれ、日本は下田・箱館・長崎を開港した。そして両国の国境については、エトロフ島以南を日本領と決めるとともに、カラフトは両国人雑居の地として国境を定めなかった。そのうち、箱館の五稜郭に立てこもった旧幕府海軍¹⁴⁾くき>らが率いる軍が降伏すると、明治新政府はすぐに蝦夷地を北海道と改称して開拓使をおき、また開拓使廃止後は北海道庁を設けて、北海道の開拓事業を推進した。さらに国境が未確定であったカラフトの帰属をめぐりロシアとの紛争が続いたため、駐露公使となったくき>は1875年に樺太・千島交換条約を成立させ、ようやく国境が確定することになった。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- (イ) a. 恭仁京 b. 長岡京 c. 難波京 d. 藤原京
(ロ) a. 藤原緒嗣 b. 藤原清河 c. 藤原佐理 d. 藤原種継
(ハ) a. ケンペル b. ゴローウニン c. フィルモア d. レザノフ
(ニ) a. サスケハナ b. フェートン c. ポサドニック d. リーフデ

B. 文中の空所<あ>～<き>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～14)にそれぞれ対応する次の問 1～14)に答えよ。

- この人物は、齊明天皇の死後しばらく、天皇の即位式を行わないまま政治を執ったが、そうした国政の執り方を何と呼ぶか。その名をしるせ。
- これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 勸解由使を設置し、国司交替を監視した
 - 郡司の子弟などを健児として採用し、国府の警備などにあてた
 - 錢貨の流通を促進するために、蓄銭叙位令を定めた
 - 班田の励行をはかるため、一紀一班を命じた
- この将軍として、前九年の役において安倍頼時らを破った人物は誰か。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 源為朝 b. 源為義 c. 源義経 d. 源頼義
- この拠点であり、蝦夷地往来の要所となった津軽半島にある港の名をしるせ。
- これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 後鳥羽・土御門・順徳の三上皇が配流された
 - 源実朝が公暁によって暗殺された
 - 宗尊親王が鎌倉幕府の将軍に就任した
 - 六波羅探題がおかれ、朝廷の監視などにあたった
- この長であった鎌倉公方の補佐役で、14世紀後半から上杉氏が世襲した役職を何と呼ぶか。その名をしるせ。

7. このときの出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 赤松満祐が将軍足利義教を殺害した
 - b. 朝鮮軍が対馬を襲撃する応永の外寇がおきた
 - c. 細川方と山名方に分かれて争う応仁の乱がおきた
 - d. 山城国一揆が地域の自治的支配を実現した
8. 松前藩は、領内をいくつかの場所に分けて、そこでのアイヌとの交易権を土地の代わりに家臣に与える制度を採用したが、こうした制度を何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. このうち、ほしあわび・いりこ・ふかのひれなどをまとめて何と呼ぶか。その名をしるせ。
10. この人物からの聞き取りを桂川甫周がまとめた書物の名をしるせ。
11. この人物に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 自叙伝である『宇下人言』を著した
 - b. 朱子学を正学とし、柴野栗山らを登用した
 - c. 出版統制令をだして、山東京伝を処罰した
 - d. 物価引き下げを目的に、株仲間を解散した
12. これに関わった日朝関係に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 木下順庵門下の雨森芳洲は、対馬藩に仕えて朝鮮外交に尽力した
 - b. 1609年に朝鮮と己酉約条が結ばれ、歳遣船の数が決められた
 - c. 朝鮮通信使に対する待遇は、新井白石によって簡素化された
 - d. 朝鮮との外交交渉を行った倭館は、博多に設置された
13. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 下級武士だけで組織された奇兵隊が、藩の実権を握った
 - b. 家老の村田清風が、大砲を製造するため山口に反射炉を築造した
 - c. 坂本竜馬・中岡慎太郎らの仲介で、薩摩藩と同盟を結んだ
 - d. フランス公使ロッシュと手を結び、軍事力の強化に努めた

14. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. アイヌの人びとの保護を名目に、北海道旧土人保護法が制定された
- b. 開拓使が設立された当初、その本庁は箱館におかれた
- c. 開拓長官五代友厚が、官有物を不当に払い下げようとする事件がおきた
- d. ボアソナードが招かれ、札幌農学校での指導にあたった

Ⅱ。次の文1～4を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 日露戦争の戦費は、国力をはるかにこえる金額となり、国民に重い負担を強いるものとなった。しかし講和条約の内容には、賠償金が盛り込まれなかった。そのため国民の不満は爆発し、(イ)事件と呼ばれる暴動へと向かっていった。こうした都市民衆運動や地方農村の疲弊の問題などを民心動揺ととらえ、政府は1908年に(ロ)を發布して、国民に勤労・儉約の奨励と国家への奉仕を説いた。

1923年の関東大震災後、多くの手形が決済不能におちいり、不況が慢性化していった。憲政会を基盤とした第1次若槻礼次郎内閣は、震災手形の整理に取り組んだが進まず、¹⁾銀行に対する不安が高まり、1927年、金融恐慌が発生した。次いで組閣した(ハ)内閣は、モラトリアムを発し、金融恐慌をしずめた。しかし、預金は大銀行に集中し、²⁾中小の銀行は大銀行に統合され、5大銀行による金融界支配が確立した。金融恐慌を切り抜けた(ハ)内閣は、³⁾中国への強硬外交を展開すると同時に、国内の労働運動や社会運動への弾圧を強めた。⁴⁾そして1928年に、日本共産党員を一斉検挙し、労働農民党などを結社禁止とした。

1929年から始まる世界恐慌は日本経済に大きな打撃を与え、大量の失業者をだした。⁵⁾この事態に有効な対策を打ちだせない政府への不信感の高まりなどから、1932年には右翼によって団琢磨三井合名会社理事長らが殺害される(ニ)事件がおきた。1930年代におきたあいつぐテロやクーデター未遂事件で軍部の発言力は強まり、⁶⁾政党内閣は終焉を迎えた。

2. 大正期になると、工業化・都市化の進展、中等教育の普及を背景に近代的市民文化が発展した。民主主義をうながす新しい政治思想や社会主義思想も広がり、吉野作造が民本主義を唱えた。人文・社会科学分野でも、日本独自の学問的成果があらわれた。⁷⁾文学では、人道主義・理想主義をかかげる有島武郎らの白樺派が生まれた。これに対して第3次および第4次『(ホ)』の創刊メンバーの1人であった芥川龍之介などは(ホ)派と呼ばれる。

新聞・雑誌の発行部数が急増し、一般勤労者をにない手とする大衆文化の発展をうながした。児童文学ブームを起こした雑誌『(ヘ)』が創刊され、後の生活綴方運動にも大きな影響を与えた。

美術の分野でも文部省美術展覧会(文展)に対抗して、新たな在野勢力の動きがみられた。洋画では二科会が結成され、日本画の分野では、横山大観を中心として(ト)⁸⁾

が再興された。

第一次世界大戦後の不況は、労働者階級の地位向上を求める労働運動や社会主義運動を高揚させた。マルクス主義の影響も大きく、プロレタリア文学運動もみられるようになった。⁹⁾

3. 1945年、日本はポツダム宣言の受諾により、連合軍に占領されることになり、占領政策は民主化と非軍事化を基本理念に進められた。占領は、アメリカ軍による事実上の単独占領で、マッカーサー元帥を最高司令官として、連合軍最高司令官総司令部（GHQ）がおかれた。占領政策の最高決定機関として、当初は11カ国代表で構成される極東委員会が設置され、GHQの諮問・勧告機関として東京に対日理事会がもうけられた。

GHQは、治安維持法や特別高等警察などの廃止を指令したが、その時の内閣はその指令を実行不可能として総辞職した。その後、GHQは、占領政策の基本となる五大改革指令を発し、あわせて憲法改正を指示した。¹⁰⁾¹¹⁾¹²⁾

経済機構の民主化も進められた。農業の民主化を進めるために、寄生地主制を解体し、安定した自作農を大量に創出する農地改革の実施を求めた。これにより農村の支配的秩序を形成していた地主・小作関係¹³⁾を基礎とする権威主義的な地主制は解体された。

4. 1955年からの20年近くの間、日本はめざましい高度経済成長を遂げた。1960年代について1億人の大台を突破した人口は、人口の流入¹⁴⁾する大都市部と流出する農村部において大きな地域間格差を生み出した。大都市周辺には住宅団地が建設されるなどにより、夫婦と未婚の子で構成される（チ）化が進行した。

企業が収益を伸ばしたため、税収が増えて国家予算が大型化した。また、1961年には農業基本法が公布され、米麦などを政府が統制・管理する食糧管理制度や農協の圧力¹⁵⁾などを背景に、米価の政策的引き上げが図られた。

高度経済成長と工業化の進展により国民生活は豊かになった。しかし経済成長のひずみが環境破壊や公害という形で浮かび上がり、四大公害訴訟の他、多くの地域で問題が顕在化した。1967年には（リ）法¹⁶⁾が制定されるなど、ようやく政府の法整備も進んだ。しかし公害はなかなか解消せず、生活環境の改善を求める住民運動が全国でおこった。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～16)にそれぞれ対応する次の問 1～16)に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 後に、政友本党と合同して立憲民政党を結成した
 - b. 初代総裁の高橋是清は、普通選挙法を成立させた
 - c. 第二次護憲運動を行った護憲三派のひとつである
 - d. 寺内正毅の超然内閣に対抗した
2. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 裏を印刷していない紙幣を発行した
 - b. この時の大蔵大臣は井上準之助であった
 - c. 5大銀行から巨額の救済融資がなされた
 - d. 支払猶予の期間は1か月とした
3. このうち、4大財閥に属さなかった銀行の名をしるせ。
4. これが展開された1920年代後半における中国の状況に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 第2次山東出兵の際、日本軍は国民革命軍との間に武力衝突をおこし、一時、濟南城を占領した
 - b. 中国国民党を結成した蔣介石は、中国共産党との第1次国共合作を成立させた
 - c. 張学良は、満州を国民政府支配下の土地として認めた
 - d. 満州の軍閥張作霖は、当初、日本政府により支援を受けたが、後に関東軍の謀略により爆殺された
5. これ以後の出来事に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 犬養毅内閣の時、日ソ基本条約を締結した
 - b. 斎藤実内閣の時、日満議定書を結んで「満州国」を承認し、日本の実質的な植民地とした
 - c. 第2次若槻礼次郎内閣の時、満州事変が発生した
 - d. 浜口雄幸内閣の時、重要産業統制法を制定し、指定産業での不況カルテルの結成を容認した

6. これでないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 五・一五事件 b. 三月事件 c. 十月事件 d. 大逆事件
7. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 国民主権にもとづく民主主義を主張した
- b. この思想を擁護するため黎明会などの団体が結成された
- c. 1916年の雑誌『中央公論』の中で発表された
- d. 普通選挙制にもとづく政党内閣が経済的不平等を是正すべきとした
8. この結成に加わった画家で、ルノワールに学び、『紫禁城』を描いた画家は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 梅原竜三郎 b. 黒田清輝 c. 高村光太郎 d. 永井荷風
9. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 小林多喜二は、カムチャツカ漁場で働く蟹工船の労働者を描いた
- b. 『戦旗』は、全日本無産者芸術連盟（ナップ）の機関誌である
- c. 1921年に創刊された雑誌『種蒔く人』は、プロレタリア文学の先駆けであった
- d. 宮本百合子は、労働者としての体験を『太陽のない街』に著した
10. この理事会に入っていない国はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イギリス b. ソ連 c. 中国 d. フランス
11. この時の内閣総理大臣は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 幣原喜重郎 b. 鈴木貫太郎 c. 東久邇宮稔彦 d. 吉田茂
12. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 学校教育の民主化 b. 女性参政権の確立
- c. 天皇制の廃止 d. 労働組合結成の奨励
13. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 小作地面積は、農地改革前 5 割程度だったが、改革後に 1 割程度にまで減少した
- b. 在村地主の小作地所有制限を、5 町歩とすることが、第 1 次農地改革で定められた

- c. 在村地主の小作地所有制限を、1町歩（北海道は4町歩）とすることが、第2次農地改革で定められた
- d. 不在地主の全貸付地を政府が強制的に買い上げ、小作農民に優先的に売り渡す第1次農地改革により、不在地主はいなくなった
14. これに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 池田勇人内閣の国民所得倍増計画により、神武景気を迎えた
- b. 石炭から石油へのエネルギー転換が進む中、三池炭鉱での大量解雇に反対する激しい争議が展開されたが、労働者側の敗北に終わった
- c. 1968年に東京でオリンピック大会が開催され、同年に名神高速道路が開通し、日本の復興を世界にアピールした
- d. 日本は、この時期、経済の成長率が年平均10%を超える急テンポの成長を続け、国民総生産（GNP）で資本主義国では第1位に達した
15. この法律の制定後、農業をめぐる状況は大きく変化した。それに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 化学肥料・農業機械の普及により生産力は高まった
- b. 米の供給過剰と食糧管理特別会計の赤字が深刻になった
- c. 1970年度から米の生産調整である減反政策が始まった
- d. 農業就業人口が減り、農家の所得水準が低下した
16. これに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 水俣病は、1956年に最初の患者が発見され、同年、公害病に認定された
- b. イタイイタイ病は、阿賀野川流域で発生した骨がもろくなる病気である
- c. 新潟水俣病は、新日本窒素肥料の工場から垂れ流しにされたメチル水銀が原因であった
- d. 1960年代に提訴された四大公害訴訟は、1971～73年の間に患者側が勝訴した

【以下余白】